

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】特表 2003-534727 (P2003-534727A)

【公表日】平成 15 年 11 月 18 日 (2003.11.18)

【出願番号】特願 2001-586899 (P2001-586899)

【国際特許分類】

H 0 4 B 15/02 (2006.01)

H 0 3 H 7/46 (2006.01)

H 0 4 B 3/02 (2006.01)

H 0 4 M 1/738 (2006.01)

H 0 4 M 11/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 15/02

H 0 3 H 7/46 A

H 0 4 B 3/02

H 0 4 M 1/738

H 0 4 M 11/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 20 日 (2006.11.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配線に基づいた電話システムの電話線用の端末デバイスにおいて、

上記端末デバイス (30) を第 1 の電話ソケット (3) に連結するための入力端子 (42、43) と、

供給分配器 (7) を介して第 2 の電話ソケット (2) に接続されるデータ伝送用の高速モデム (13) に用いられる周波数帯域内において信号を分離するための受動高域フィルター (39) と、

上記受動高域フィルター (39) と接続されたインピーダンス手段 (53) と、

低周波数帯域内において伝送される電話音声信号を分離するための、受動低域フィルター (38) と、

上記端末デバイス (30) の上記受動低域フィルター (38) に電話機 (48) を接続するための出力端子 (46、47) と、

上記電話機 (48) が上記端末デバイス (30) の上記出力端子 (46、47) に接続されているかどうかを検知し、上記電話機 (48) が上記端末デバイス (30) に接続されていない場合には、上記第 1 の電話ソケット (3) における信号反射を防止するために、自動的にスイッチを切り替えて上記受動高域フィルター (39) を入力端子 (42、43) に接続するスイッチングユニットを制御する検知手段とを含み、

上記第 1 および第 2 の電話ソケット (3、2) は、電話機回路網 (21) の基礎伝送ユニット (20) に接続され、

上記インピーダンス手段 (53) は、高速モデム (13) に用いられる周波数帯域における電話線 (19) のインピーダンスと整合するように、該電話線 (19) のインピーダンスに応じて決定されるインピーダンスを有し、

上記受動低域フィルター（３８）は、上記端末デバイス（３０）の上記入力端子（４２、４３）に接続されている端末デバイス（３０）。

【請求項２】

上記インピーダンス手段（５３）のインピーダンスは、漸近的な抵抗性を有している請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項３】

上記インピーダンス手段（５３）は、抵抗器である請求項２に記載の端末デバイス。

【請求項４】

上記抵抗器（５３）のインピーダンスは、１３０オームである請求項３に記載の端末デバイス。

【請求項５】

上記受動低域フィルター（３８）のカットオフ周波数は、約７００ｋＨｚである請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項６】

上記受動高域フィルター（３９）のカットオフ周波数は、約１ＭＨｚである請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項７】

上記低周波数帯域は、０Ｈｚ～約４ｋＨｚのＰＯＴＳ周波数帯域である請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項８】

上記低周波数帯域は、０Ｈｚ～１３０ｋＨｚのＩＳＤＮ周波数帯域である請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項９】

上記高速モデム（１３）は、ｘＤＳＬモデムである請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項１０】

上記ｘＤＳＬモデムは、ＶＤＳＬモデムである請求項９に記載の端末デバイス。

【請求項１１】

上記高速モデム（１３）に用いられる周波数帯域は、データ下流周波数帯域とデータ上流周波数帯域とを含んでいる請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項１２】

上記データ下流周波数帯域は、０．９ＭＨｚ～約３．５ＭＨｚであり、データ上流周波数帯域は、約４ＭＨｚ～約７．９ＭＨｚである請求項１１に記載の端末デバイス。

【請求項１３】

上記電話線は、シールド無しツイストペアケーブル（ＵＴＰ）である請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項１４】

上記端末デバイス（３０）は、上記第１の電話ソケット（３）と一体化されている請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項１５】

上記端末デバイス（３０）は、電話ジャックと一体化されている請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項１６】

上記端末デバイス（３０）は、電話の延長配線と一体化されている請求項１に記載の端末デバイス。

【請求項１７】

上記受動低域フィルター（３８）と上記受動高域フィルター（３９）とのカットオフ周波数は調整可能である請求項１に記載の端末デバイス。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０００７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

$V \sim * f$

電話線を介して伝送される信号の波長は、周波数 f が増すと短くなる。xDSL モデムを用いた場合のように、超高周波数帯域において信号が伝送されると、波長は数メートルの大きさ (magnitude) になる。すなわち、波長は建物内の壁の大きさ (magnitude) に相当するサイズを有することとなる。したがって、図1のソケットBのような、デバイスが接続されておらず、かつ、配線を介して電話線Tに電氣的に接続されている他のソケットでは、信号反射 (signal reflections) が起こり得る。これらの他のアウトレットは、主伝送電話線Tに接続されているスタブ (stubs-of wire) として、高速モデムによって識別される。これらのスタブは、信号周波数スペクトルにおいて妨害「ノッチ (notches)」を誘発する程に、信号を反射する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0051

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0051】

図3に示した端末デバイス30aは、高周波数帯域において高速モデム13に伝送される下流データを妨害する恐れのある、線22、25を介するソケット3から電話配線19への妨害反射を防止する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

図3に示したような端末デバイス30bは、電話機29が作動する際に生じる信号が、高速モデム13に用いられるxDSL高周波数範囲においてxDSLデータ伝送に干渉することを防止する。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0053

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0053】

端末デバイス30cは、コードレス電話基地局32から発生した例えばクロック信号が、xDSL高周波数データ伝送範囲内におけるxDSLデータ伝送信号を妨害することを防止できる。